

科目名	知的障害者の教育Ⅰ			担当教員	松本 和久	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2SSR306
期待される学修成果						
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク					
実務経験	教諭（講師含む）					
実務経験を生かした授業内容	通常の学級（3年），特別支援学級（11年），特別支援学校（3年）と，合計17年間学校教育現場で児童生徒の支援に携わってきた。その経験を踏まえ，具体的な事例を交えながら授業を進める。					
到達目標及びテーマ	知的障害教育の在り方や知的障害者への実際の支援について学ぶことを通して，特別支援学校や特別支援学級における知的障害教育の内容・方法を理解することができる。					
授業の概要	知的障害の特別支援学校や特別支援学級では，知的障害の特徴及び学習上の特性等を踏まえ，児童生徒の生活を中心にして教育実践が行われている。特別支援学校学習指導要領やその解説，知的障害教育に関する文献を購読し，解説を加えることにより，知的障害のある児童生徒に対する支援の在り方について論ずる。 【デジタル技術利用：該当なし】					

授業計画	
第1回	知的障害の定義と障害の捉え
第2回	教育的対応の基本
第3回	教育課程の編成
第4回	各教科等を合わせた指導（１）日常生活の指導，遊びの指導
第5回	各教科等を合わせた指導（２）生活単元学習，作業学習
第6回	教科別の指導
第7回	自立活動
第8回	交流及び共同学習
第9回	卒業後の進路
第10回	特別支援学校の指導の実際（１）小学部・中学部
第11回	特別支援学校の指導の実際（２）高等部
第12回	特別支援学級の指導の実際（１）知的障害学級
第13回	特別支援学級の指導の実際（２）自閉症・情緒障害学級
第14回	関係諸機関との連携
第15回	授業の総括と確認テスト

事前学修		教科書の該当ページを事前に読み，よく理解できなかった部分をはっきりさせて授業に臨む。
事後学修		授業で学修したことを整理し，知識の定着を図るとともに，自分自身の考えを明確にしておく。
フィードバックの方法	小レポートにはコメントを添えて返却すると共に，仲間の考えから学ぶことを通して自分の考えを広げたり深めたりできるように，次時の最初に小レポートの内容を踏まえた補足説明をする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない。
レポート	50%	毎回の授業の最後に課す小レポートで，その日の知識の定着と考えの深まりを評価する。

上記以外の試験・平常点評価		50%	確認テストで、知的障害教育の知識の定着と具体的な支援，特別支援教育に対する考えの深まりを評価する。
補足事項			

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
新訂 2 版 特別支援学級はじめの一步－まずは押さえない 100のポイント－	坂本裕編著	明治図書	978-4-18-050233-2	なし
特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領	文部科学省	海文堂出版	978-4-303-12424-3	なし
特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（幼稚部・小学部・中学部）	文部科学省	開隆堂出版	978-4-304-04229-4	なし
特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）	文部科学省	開隆堂出版	978-4-304-04230-0	なし
特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）	文部科学省	開隆堂出版	978-4-304-04231-7	なし
特別支援学校高等部学習指導要領	文部科学省	海文堂出版	978-4-303-12427-4	なし
参考資料	適宜紹介する。			

科目名	知的障害者の教育Ⅱ			担当教員	安田 和夫、松本 和久	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2SSR307
期待される学修成果	教科教育 子ども理解					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク					
実務経験	教諭（講師含む）、公務員（教育行政）					
実務経験を生かした授業内容	知的障害特別支援学級や特別支援学校での勤務経験を踏まえた事例提案や授業づくりに関する助言指導を積極的に行う。					
到達目標及びテーマ	知的障害特別支援学級や特別支援学校における学習指導要領及び教育課程を理解することができる。 個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成手順を理解することができる。 学習指導案の作成及び検討する活動を通して、ねらいと評価の一体化や一人一人の応じた指導・援助のあり方を学ぶことができる。					
授業の概要	「知的障害者の教育Ⅰ」の履修により知的障害教育の内容・方法を理解した後、本授業では、 個別最適な学びと協働的な学びがともに成立するように、模擬授業の取組を通して、指導内容や指導方法について実践的に学ぶ。 【デジタル技術利用：該当なし】					

授業計画	
第1回	特別支援学校学習指導要領に見る知的障害児教育（担当：松本和久）
第2回	個別の支援計画，個別の教育支援計画（担当：松本和久）
第3回	知的障害児教育におけるカリキュラムマネジメントと授業づくり（担当：安田和夫）
第4回	個別の指導計画，個別の移行支援計画（担当：松本和久）
第5回	通知表と指導要録（担当：松本和久）
第6回	年間指導計画と単元指導計画（担当：松本和久）
第7回	学習指導案の作成（１）教科別、領域別の指導（担当：安田和夫）
第8回	学習指導案の作成（１）教科等を合わせた指導（担当：安田和夫）
第9回	授業研究（１）授業の実際と評価（担当：安田和夫）
第10回	授業研究（２）授業の実際と評価（担当：安田和夫）
第11回	授業研究（１）特別支援学校における授業づくり（担当：安田和夫）
第12回	授業研究（２）特別支援学級における授業づくり（担当：安田和夫）
第13回	知的障害児教育における自立活動（担当：安田和夫）
第14回	知的障害児・者に関わる福祉や労働のしくみ（担当：安田和夫）
第15回	知的障害児・者に関わる福祉や労働のしくみ、総括及び確認テスト（担当：安田和夫）

事前学修	2時間	教科書などを参考にして、テーマに関する基本的な内容や情報を収集しておく。
事後学修	2時間	実際の教育実践や課題に関心を持ち、見学、体験を通して内容を深めていくように努める。
フィードバックの方法	授業構想の立案や模擬授業を行った際には、自己評価、他者評価、及び、教員による総括評価を行う。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
上記以外の試験・平常点評価	70%	確認テストの実施、評価
レポート	30%	模擬授業の指導案評価
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領	文部科学省	海文堂出版	978-4-303-12424-3	なし
参考資料	特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編(小学部・中学部) 文部科学省(編集) 開隆堂出版 2018/4/1 ISBN-13 978-4304042300 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚部・小学部・中学部) 文部科学省 開隆堂出版 2018/3/30 ISBN-13 978-4304042317			